

# ステークホルダーエンゲージメント

積水化学グループは、「お客様」「株主」「従業員」「取引先」「地域社会・地球環境」の5つのステークホルダーとの信頼関係を構築するためには、企業価値向上に向けた建設的な対話が重要だと考えています。ステークホルダーを企業価値向上に向けたパートナーと位置付け、建設的な対話を通じて、その期待や要請を把握し、社会全体の課題をともに解決していくことが、大きな事業機会につながります。ステークホルダーと共存共栄の関係をつくり、持続的な成長をさらに進めていきます。

## ステークホルダーとの建設的な対話の促進

### お客様との対話

「モノづくりのはじまりはお客様の声から」のキャッチフレーズのもと「指名され続ける品質」の実現を目指し、2020年度も住宅販売会社の経営幹部層がお客様のご意見を直接お伺いする「CAT (Customer And Top)ミーティング」(2020年度は約50邸を対象)を実施しました。

### 従業員との対話

会社を取り巻く問題点や仕事上の課題を解決していくためにも、経営層と従業員の対話が不可欠だと考え、2002年度より、従業員が経営層と直接対話をする機会を設けています。

2020年度は、新たに策定した長期ビジョン「Vision 2030」やそれを実現するための鍵となるESG経営について浸透を図るため、全グループ従業員を対象に国内8回、海外(東アジア、ASEAN、インド、



オンラインで開催されたビジョンキャラバン2020

豪州、北米、欧州)5回の「ビジョンキャラバン2020」をオンラインで開催しました。社長と取締役が「Vision 2030」の実現に向けた自身の想いや、当社グループのESG経営について説明をし、それを受けて従業員は、「Vision 2030」の実現のために各々の業務をどのように意識して進めたら良いか、自分の業務と当社グループのESG経営のつながりなど、従業員同士で議論し、理解を深めます。従業員からの質問や、従業員同士で議論した内容の発表に対して、社長や取締役がコメント、フィードバックをし、双方向での活発な対話を進めました。

### 株主・投資家の皆様との対話

当社グループでは、適時、適切かつ積極的な情報開示が重要であると考えており、積水化学のWebサイトでは、「企業情報開示理念」のもと、具体的な開示内容や開示体制などに関して「企業情報開示規則」を策定し、社内の情報開示体制を強化しています。またフェアディスクロージャーに十分配慮し、決算情報・説明会資料については、Webサイト上に和英同時公開を行うほか、その説明会の模様についての配信や質疑応答の掲載を行っています。2020年度は経営陣による長期ビジョンおよび中期経営計画説明会および四半期ごとの決算説明会をオンラインで開催しました。

当社グループの事業領域が多岐にわたることからグループ全体の事業内容やESG経営の取り組みについて、理解を深めてもらうためには、個別に丁寧な説明をすることが重要だと考え、機関投資家・セルサイドアナリストの方々との面談などを積極的に行っています。2020年度は、当社の高機能プラスチックカンパニーの成長戦略、各事業戦略について、セルサイドアナリスト向け「高機能プラスチックカンパニー スモールミーティング」を開催しました。

そして、「投資家と経営層の積極的なエンゲージメント」を重要課題の一つとして掲げ、株主・投資家の皆様と建設的な対話を行い、そのフィードバックを経営に活かしています。また、いただいたご意見やご質問を基に統合報告書をはじめとする各種IR資料の改善に努めています。2020年度、日本証券アナリスト協会ディスク

ロージャー研究会が毎年実施している「証券アナリストによるディスクロージャー優良企業選定」において、化学・繊維の業種で2位の評価をいただきました。これは非財務情報(ESG情報等)の開示に積極的に取り組んでいることなどを評価いただいたものです。

これからも、分かりやすく丁寧な説明を心がけるとともに、資本市場の声に耳を傾け、企業価値向上や持続的成長のための取り組みを推進していきます。

### 地域社会・地球環境

事業を通じた地域発展への貢献、地域との共生、環境保全という視点を重視しています。地域社会と連携して、次世代の子どもたちに自然環境の大切さを伝える取り組みや事業特性を活かした小中高生向けのキャリア教育の実施、自然環境保全のためのグループ事業所におけるさまざまな環境保全活動の実施、自然に学ぶ研究活動への支援・助成などさまざまな活動を進めています。



九州積水こども自然塾

### ステークホルダーへの価値配分(2020年度)

積水化学グループでは、GRIスタンダードなどを参考にして、財務諸表に基づきステークホルダー別に、その配分状況を算出しています。

(百万円)

ステークホルダー	金額の算出方法	
株主	配当金	22,193
取引先	売上原価、販売費・一般管理費(人件費除く)	778,554
従業員	労務費、販売費・一般管理費のうちの給料および手当、賞与引当金、退職給付引当金	210,705
地域社会	寄付	218
地球環境	環境保全コスト	16,207
政府・行政	法人税、住民税、事業税	19,902
債権者	営業外費用のうちの支払利息	861